

令和4年9月22日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）コミュニティ・スクールの推進について

広島県の未来をひらく子どもたちの育成のためにも、本県教育の方向性として、県内全ての公立学校へのコミュニティ・スクールの積極的推進を図り、特に、導入の遅れている市町立の小中学校への働き掛けを強化してもらいたいと思うが、県教育委員会として具体的にどのような方向で取組を進めているのか、今後の取組の方向性について、教育長に伺う。

（答）

コミュニティ・スクールは、学校と地域それぞれが当事者として同じ目標を持ち、地域の教育力を生かして、児童生徒の教育活動等を一層充実させていく仕組みでございます。

また、学校を核とした地域づくりを推進することにより、人生100年時代における生涯学習の場として、住民一人一人の活躍の機会が創出され、地域に活力が生み出されることから、広島県においても、全市町における導入を目指して、取組を進めているところでございます。

昨年度、市町の取組と併せて、県教育委員会では、訪問指導、研修会への講師派遣などの取組を進めたところ、令和4年度には県内公立学校における導入率が29.5パーセントから56.8パーセントへと上昇しております。

これまでも、導入が遅れている市町に対しましては、コミュニティ・スクールの推進に関する専門家を派遣しているところであり、今後は、コミュニティ・スクールの利点を明確にイメージできるよう、市町教育委員会の担当者等を対象に、地域の力を生かして充実した教育活動を実践している先進地域への視察を行うなど、導入に向けた支援の強化を図ってまいります。

こうした市町の状況に応じた支援を行うことにより、着実にコミュニティ・スクールの増加を図り、コミュニティ・スクールを核として、地域と学校の連携・協働体制を一体的に推進し、社会総がかりで教育の実現を目指してまいります。